

とこい洋治
県政報告

笑顔大好き

EGAO

DAISUKI

2003.11.2
VOL.15
とこい洋治後援会
〒319-0205 西茨城郡岩間町神辺1745
TEL0299 (45)6818
FAX0299 (45)0818

安心できる医療・福祉に情熱!



▲「本県の医療行政が、真に県民の命と健康を守り、安心を与えるものであり得るのかを問いたいのであります。」、そして「ベットに横たわる一人の患者の視点で、医療をみつめ直すことが大切です。」と、常井議員は、予算特別委員会で切せつと訴えました。(15年9月22日。常井議員の右隣から、新井、西條、葉梨委員)

予算特別委員会で医療行政を質す

常井洋治議員は、予算特別委員会で、現在の医療制度のはざまに横たわる問題を取りあげました。最近の医療法の改正などにより、すべての病院は、救命的な急性期医療を担う「一般病床」と療養期医療を担う「療養病床」の二者択一を迫られました。

一般病床では、平均17日間の入院日数を目標とするため、長く入院すると診療報酬が減額になることから、これまで以上に患者を早く退院させる圧力が強くなります。

常井委員は、チューブ(管)や酸素ボンベをつけたまま退院を迫られ、なかなか受入れ病院がない中で、転院先を自分で見つけなければならない患者や家族の難渋の実態を、自らが知人の件で経験した実例を挙げながら、「誰もが明日は我が身」の問題として提起しました。委員会室は、その話にシーンと静まりかえり、事実の重みに執行部からも共鳴の声が相次ぎ、積極的な答弁がなされました。(常井議員の挙げた実例については、ホームページをご覧ください。)



一緒に創ろう！ 平成15年第3回定例県議会 を終えて

ふるさと西茨城郡 友部町 岩間町 岩瀬町 の新時代

平成15年第3回茨城県議会は、9月3日から26日までの24日間開かれ、平成15年度補正予算及び条例など49議案を議決して閉会しました。常井議員は土木委員会、予算特別委員会で、活発な質疑を行いました。

なお、第4回定例会は、11月25日から12月11日までの17日間で開会される予定です。

平成15年度9月一般会計補正予算を可決

◎補正予算 150億8,100万円

◎補正後 1兆639億1,000万円

補正予算の主な事業

1. 中小企業融資資金貸付金……7,107百万円

- ①中小企業再生支援融資（新規）
 - ・中小企業再生支援協議会主体による再生を支援するための融資。融資枠＝10億円（県預託なし）
 - ・金融機関主体による再生を支援するための融資。融資枠＝50億円（県預託なし）
- ②セーフティーネット融資
 - ・融資枠拡大：当初100億円→補正後160億円

2. 小児救急医療拠点病院運営費補助…19百万円

- ・365日24時間体制で小児救急医療を行う土浦協同病院への運営費の助成

※県立中央病院では、夜間・休日を含め24時間、小児科を含む全科の救急患者を常時受け入れる体制をとっており、内科系、外科系、

産婦人科の医師、各1名、計3名が常に当直しています。

小児科は内科系に属しますが、小児科医が当直でない場合であっても、重症児・乳児の場合は小児科医を呼び出して（オンコール）診察できるようにしています。（中央病院 千葉 実 事務局長 談）

3. 自動車排出ガス低減化支援事業……28百万円

- ・8トン以上のトラックなどへのディーゼル微粒子除去装置装着費用に対する県補助金の補助率の引き上げ（1/10→1/4）、国は1/4補助

主な条例

1. 茨城県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例（15年10月1日施行）

- ・県立中央病院の診療科目の追加等。15科→19科（呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科、呼吸器外科の追加、神経科の削除）

2. 茨城県土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例（16年4月1日施行）

- ・残土埋立てを規制するため、5,000㎡以上に許可制を導入（岩間町、岩瀬町は、町条例で5,000㎡未満を規制。友部町は、現在町条例による規制無し。）

県議会トピックス

①「友部病院は、県立中央病院近くに移転改築」を提言

- ・「友部病院改築整備検討委員会」が上記を最終報告した。
- ・患者の社会復帰促進へ向け必要最少病床数は、215床（現在は444床）としている。
- ・規模や場所についての県の最終判断は、今後出される。

②友部病院が、急性期・精神科夜間救急を開始

- ・夜間の救急窓口を精神保健福祉センター（水戸市）とし、受入病院を友部病院として、早期に実施する。

③中央病院に「女性専門外来」の設置を検討

- ・キャリア10年以上の女性医師の確保が必要となる。
- ・山本保健福祉部長が、公明党の鈴木孝治議員の質問に答弁。

④総合流通センター予定地の常磐道側に看板を設置してPR、展望台も設置

たくましく
はつらつと!!
思い出の
運動会



予算特別委員会 質疑要旨

H15.9.22

1. 県民の命と健康を守り、安心を与える医療行政について

〈患者の視点で、スムーズな医療の提供を〉

常井委員 一般病床と療養病床の二者択一（P1参照）では、患者の病態に対応できない。脳疾患等におけるリハビリ等の回復期医療や急性期に続く亜急性期段階の医療などに対応するため、中間の病床が必要だ。患者の視点に立った場合、患者の病態、病状の流れに沿った形で、医療が提供されることが大事だ。県の問題認識と対応を伺いたい。

山本保健福祉部長 病状が不安定で回復途上の患者には、亜急性期病床や回復期リハビリ病床が極めて重要な役割をもっていると考えている。亜急性期病床については、医療保険上の問題なので、医師会や医療機関の意見を聴きながら、国へ改正要望をしていきたい。

〈県立中央病院にメディカル・ソーシャル・ワーカー（MSW）を増員〉

常井委員 一般病床（中央病院は、一般病床だけを選択）から早期退院を迫られ、押し出される患者が、転院先などを相談するMSWは、患者が医療行政のはざまに落ち込まないための「橋渡し役」として重要なスタッフだが、中央病院には1人しかいない。MSWの要員の充実を図るべきだ。同時に民間病院へも配置を進めるべきだ。

また、患者や家族が、患者の病状にあった受け入れ先を相談できるよう、病院の登録を含めた転院受け入れシステムを確立すべきだ。

山本保健福祉部長 中央病院のMSWについては、今後確保に向けて検討する。MSWの役割は、益々高まっているので、病院協会に対し研修会の開催をお願いするとともに、診療報酬上の位置づけを国に要望していく。全ての疾患に対応する受け入れ病院の登録や患者の紹介を行う相談窓口については、今後研究してまいりたい。

〈リハビリ病院の充実を図るべきだ〉

常井委員 脳疾患や交通事故の患者には回復期リハビリ病床が重要だが、リハビリに特化して評判のいい県立医療大学付属病院は、5～6ヶ月待たないと入院できない。絶対量が少ないのではないのか。県央部には無く、アンバランスだ。政策的に病床を優先配分をして、充実すべきだ。

山本保健福祉部長 回復期リハビリ病床は、推定需要1,500床に対し、現状は、145床となっている。施設整備の助成制度を活用して、リハビリ病棟の新設を促進していく。また、病床増床の事前協議において回復期リハビリ病棟への優先配分を検討する。

〈橋本知事が、中央病院へのPETの早期導入を約束〉

常井委員 私は（5mm程度の極早期のがんを発見できる診断機器である）PET（ペットと呼ぶ。「陽電子放射断層撮影装置」）の県立中央病院への導入を求めてきたが、県民感情からも余りにも対応が遅れていると感ずるが、何が問題なのか。導入時期はいつになるのか。知事の決断にかかっているがどうか。

橋本知事 導入するうえでの問題として次の点がある。

①検査の薬剤（FDG）を病院で製造した場合、約10億6,000万円の整備費が必要となる。

②日本メジフィジックスがFDGの製造販売を計画しており、そこから薬剤を買ってカメラだけ整備すれば建屋を含めて約3億6,000万円で整備できる。その薬剤承認時期を見ながら、検討したい。

③最近では、より診断精度が高いCT付きPETが注目を浴びてきている。日本でも、そんなに遠くない時期に医療用具としての認可が下り、輸入できると予想される。

ペットの導入に当たっては、これらの動向を見極めながら検討する必要がある。

県立中央病院には、（PETを）必ず整備する。

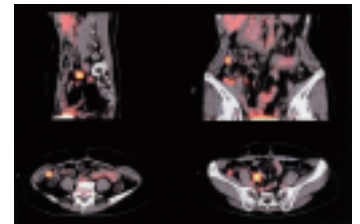
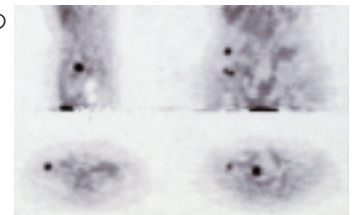
（※）現在、中央病院では、スタッフ養成など、PETに対応できる準備に入っています。

▶卵巣癌術後症例を撮影したPETのみの画像。



▲CT付きPET装置（SIEMENS社製 Biograph）
カメラのみで約4億円。FDG製造装置を含むと約12億6千万円。

※PETの医療保険適用部位
悪性腫瘍（肺がん、乳がん、大腸がん、頭頸部がん、脳腫瘍、膵がん、悪性リンパ腫、転移性肝がん、原発不明がん、悪性黒色腫）、てんかん、虚血性心疾患



▲上の症例をCT付きPETにより、PET画像とX線CT画像を重ね合わせたもの。診断精度がより高くなる。輸入できるようにになれば、がん診療の臨床に大きな貢献を果たすと期待される。

※写真は放射線医学総合研究所より

2. いばらき総合流通センターの早期整備について

質問項目は次のとおりです。

- (1)国際物流特区構想の実現見込み
- (2)常陸那珂港及び北関東自動車道並びに関連道路の整備見込み
- (3)友部サービスエリアへの「ETC」インターチェンジ設置の実現見込み
- (4)進出企業の動向と着工予定時期の見込み

答弁等は次のとおりです。

- (2)関係…①茨城中央工業団地から県道石岡常北線（「エリア」前）までの0.9kmの未整備区間の早期完成をめざす。
②石岡常北線バイパス岩間区間（安居地区）の1.4kmについては、15年度から用地取得に着手した。（①、②とも坂入土木部長答弁）
- (3)関係…①私（常井議員）が5年前の初めての一般質問から一貫して主張してきた、友部SAへのインター設置であり、是非とも実現を願いたい。（答弁求めず）
- (4)関係…①県税の優遇措置等により、数社が進出を検討している。その（立地の）意向を確認しながら、先行整備地区の造成工事に着手したい。（滝本商工労働部長答弁）

土木委員会 (H.15.9.16)

- ・ SOLAS条約改正に伴う県の対応は
- ・ 災害に対する備えは、万全か

テロの破壊行為から船舶の安全を守るため港湾の保安対策を強化することを主眼とする、改正SOLAS（ソーラス）条約（2004年7月1日発効見込み）による港湾管理者としての県の対応を質しました。県は、対象となる日立、常陸那珂、鹿島港の港湾施設保安計画の策定や保安職員の育成費などの事業費として、今定例会に11,471千円（国庫補助なし）の補正予算を計上しました。3港の公共・民間バースをフェンスで囲い、監視カメラを設置して保安職員などが監視する体制を強化するものです

常井委員の質問に対し、最終的には、国全体の事業費は約2,000～3,000億円、県分は、国庫補助の詳細は不明だが、大きく見積もると50億円、維持費が年間その1割ぐらいと考えているとの答えがありました。アメリカのテロの影響が、自治体にも大きな影響を及ぼしてきたわけですが、同委員は、本来的には、国の責任でやるべきものであるとの考えから、地方負担の軽減を国に働きかけるよう求めました。

同委員はまた、今年7月に水俣市の土石流災害で、熊本県と市町村の連絡体制の不手際で避難勧告が遅れたとの批判があるが、本県は大丈夫なのかと質しました。これに対して、本県では、水戸地方気象台から、大雨、洪水等の警報が発表されたときに準備体制に入り、土木事務所を通して市町村と電話やFAXで連絡及び確認を行っている。更に、水防テレメーターによる雨量、河川の水位データは、県消防防災情報ネットワークを通じて各市町村へ配信しているので、仮に県から連絡がなくても、各市町村で独自に判断できるようになっているとの答えがありました。

県出先機関との勉強会を開いています。

常井議員は、西茨城郡各町を所管する水戸土木事務所及び水戸土地改良事務所の幹部の皆さんと毎年定期的に勉強会を開催しています。今回も同議員は、地域の生の声を「要望書」として作成し、活発な意見交換を行いました。

水戸土木事務所

蛭田信行所長さんをはじめ、6人の課長さん方から、細部にわたって、事業の進捗と見込みの説明を受けました。皆さんにその主なものをお知らせします。

- ① 友部二小、旧県畜産試験場前交差点改良（右折レーン設置）
 - ・ 15年度用地買収、16年度工事へ
- ② 友部町環状道路宿大沢線、鴻巣跨線橋～友部小前（約350m）
 - ・ 15年度用地買収妥結、16年度開通へ工事着手
- ③ 県道上吉影岩間線、岩間町柗山フジフーズ先～美野里町大笹
 - ・ 改良へ向けて、秋に地元説明会開催予定
- ④ 国道355号石岡岩間バイパス岩間町内区間（未供用1,481m）
 - ・ 用地交渉妥結、早期供用へ前進（岩間町外未供用1,267mも進展中）
- ⑤ 岩瀬町役場裏桜川護岸改修
 - ・ 15年度に工事实施へ

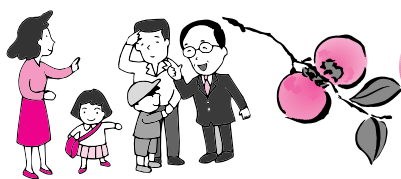
水戸土地改良事務所

今回は、舛井操所長（写真右端）さんや幹部の皆さんから、西茨城郡内の事業の進捗状況の説明を受けました。また、これからの新規事業となる友部町小原地区の「県営畑地帯総合整備事業」や「友部地区農村振興総合整備事業」について、地元の要望を踏まえて、意見交換を行いました。



15年度の補助採択を要望していた、岩間町土師地区及び山根地区の県単土地改良事業（かんがい排・用水）については、地元の皆さんと熱心に要望してきましたが、正式に採択がされました。

なお、16年度に友部町が要望している、小人町地区の農道整備事業についても、同議員は、必要性を強調して採択を求めました。



写真で見るとこい洋治活動記録



第2回全国高校アームレスリング選手権大会が友部町で開催され全国から49校が出場した。関係者の努力で同町は全国メッカとなっている。(15年8月)



水戸土木事務所の袖山課長さんに依頼して、涸沼川の堤防の法面の草刈りを実施した。道路部分は、友部町住吉区の皆さんが実施した。県は、地元との「協働」に、予算を優先配分している。(15年9月)



友部町の旭町夏まつりが開催され、大勢の人で賑わった。旭町ソフトボール同好会の主催で毎年開催し、地域に根づいたお祭りになっている。(15年8月)



友部町と岩間町の法定合併協議会の第1回会合であいさつする常井議員。地元議員として顧問に就任した。皆さんと共に考えながら、進めていきたいと語った。(15年10月)



岩間町子連合保存会主催の夏祭りは、大盛況でにぎわった。小沼会長、常井議員、役員、役員の皆さんと。(15年8月)



第54回県消防ポンプ操法競技大会の西茨城地区大会（岡野清右衛門実行委員長）が、県消防学校で開催された。各代表とも、早朝、深夜の猛練習の成果を発揮した。友部町が優勝した。(15年9月)

常井洋治議員ホームページ「県政を語ろう」**新**アドレス●<http://business2.plala.or.jp/tokoiy>

※一般質問、委員会質疑の議事録は、このホームページからリンクして見ることができます。